

第14回

## 日本の民謡を歌う ～楽しく歌おう (3)～



講師  
馬淵明彦

学習のねらい

今回、歌っていく沖縄の民謡は、3つに分類できます。1つは沖縄本島とその周辺、2つめは宮古島を中心とした地域、そして3つめが今回、紹介する八重山地方の民謡です。それぞれ、音楽のスタイルや言葉の違いなどがあるようです。また、現在歌われている沖縄の民謡は、三線や打楽器の伴奏を伴う歌い方が多くみられます。その三線の歴史や踊りとともに発達、変化してきたことにも目を向けてみましょう。八重山地方に伝わる「安里屋ユンタ」を学び、沖縄の民謡について理解を深めていきます。

### 民謡を聞いて特徴を知る

八重山地方は沖縄県の南西部に位置し、石垣島、西表島、竹富島、小浜島、与那国島など、いくつもの島からなる地域です。「安里屋ユンタ」はこの地方に伝わる古い民謡で、農民たちが戸外で作業中に無伴奏で歌っていた労働歌です。この労働歌が役人層によって、座敷・室内で三線の伴奏つきで歌われたものが「安里屋節」です。16世紀後半以降、首里王府から派遣された役人が三線を八重山地方に持ち込み、この役人層が節歌を生み出したといわれています。「ユンタ」から「節歌」になると、労働から切り離された結果、聴かせるための歌、芸として踊りを伴いながら変化していきました。さらに1934年に星克 作詞、宮良長包 編曲によって標準語による「安里屋ユンタ」が生まれ、全国に広く知られるようになりました。

「安里屋ユンタ」は古謡では、村の人たちが手拍子で歌を作り、男女に分かれて返事が返ってくるような形で歌います。こういうやりとりをする歌い方を【ユンタ】といいます。交互唱や応答唱の形です。「マタハリヌ チンダラカヌシャマヨ」という歌詞は八重山地方の古い方言で、「また会いましょう、美しい人よ」という意味です。また「サーユイユイ」は特に意味はなく、調子を合わせるための合いの手、囃子言葉です。

### 民謡にまつわる文化を知る

沖縄の民謡は、三線を弾きながら歌うのが特徴的ですが、この三線は14世紀ごろに中国から三弦という楽器が伝わってきて三線になりました。これがさらに16世紀半ば、日本本土に伝わって三味線の原型になったということです。三線と三味線では、胴の大きさも、張ってある皮も違い、また弦はバチではなく爪で弾くところが異なっています。三線は大きな木の芯の部分を使って胴を作り、太鼓の部分には蛇の皮を被せてあります。また、爪は水牛の角などで

できており、これを人差し指にはめて、それで弦を下に弾いて音を出します。三本の弦の調弦は、基本はド、ファ、ドですが、人によって違いがあり、性別でも違いがあるようです。男性は、C#、F#などで歌うことが多いようです。歌にあわせる楽器として三線以外に、笛、横笛や島太鼓、それに三板<sup>さんぱ</sup>という木を3枚つないで作られたカスタネットのような打楽器が使われている場合があります。楽器が入ると、音楽が華やかになります。沖縄本島とその周辺、そして宮古島を中心とした地方、さらには八重山地方と大きく3つに分類できる沖縄の民謡ですが、それぞれの音楽のスタイルや言葉の違いは相当、大きいものようです。

### 「安里屋ユンタ」を歌う

番組では八重山地方民謡、星克 作詞、山本幸正 採譜・編曲の楽譜を使って歌ってみましょう。

その前に、民謡の発声についてですが、民謡は作業をするときやお祭りのとき、お祝いや盆踊りなどのときによく歌われます。つまり、生活と密着し、発展し、歌い継がれてきたものです。こういう民謡を歌うときの声の出し方はわざとらしい声を作ったりはしないで、素直な自然な声を出すようにしましょう。

ウォーミングアップのために2つの音階を声で出してみます。まず『ていんさぐぬ花』で用いられている音階、「ドミファソシド」、「ドシソファミド」を歌います。

次に、『安里屋ユンタ』で用いられている音階「ファソラドレファ」「ファレドラソファ」を歌ってみましょう。

『安里屋ユンタ』を歌うときは、素直な声で、低い音から高い音までしっかり声が出るように歌ってみてください。

#### ワードファイル

『安里屋ユンタ』……「安里屋」とは、屋号のことで一門、一家の特徴をもとに、家に付けられる称号のことです。「ユンタ」とは、交互唱を意味しており、『安里屋ユンタ』は沖縄県八重山地方の竹富島に伝わる民謡です。

「マタハリヌ チンダラカヌシャマヨ」……八重山地方の方言の古い言葉で、「また会いましょう、美しい人よ」という意味です。

「サー ユイユイ」……特に意味はなく、調子を合わせる合いの手（囃子言葉）です。

#### 楽曲豆知識

『安里屋節』……八重山地方に伝わる古い民謡を元歌として、三線で節をつけて舞踊に使われるようになったのが『安里屋節』です。テンポが速くなり、音域も高くなって華やかになっています。

八重山地方……八重山群島は、石垣島、西表島、竹富島、小浜島、与那国島など大小32の島で構成されています。

#### ♪ 今回取り上げる曲 ♪♪

- 『安里屋ユンタ』：沖縄県八重山地方民謡
- 『ていんさぐぬ花』：沖縄本島 発祥
- 『安里屋節』：〃